

PAT-NO: JP411217036A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11217036 A

TITLE: FASTENER OF SECOND MAT OF
AUTOMOBILE, AND ITS METHOD OF
USE

PUBN-DATE: August 10, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAGUCHI, HIDEMI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KYOWA SANGYO KK	N/A

APPL-NO: JP10057328

APPL-DATE: February 2, 1998

INT-CL (IPC): B60N003/04

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To surely lock a second floor mat to the desired position by using a fastener provided with a projecting hook to hook a hole in a second mat on an upper surface of a plate, and provided with a piercing piece which is projected from an end in the center direction and in which at least one tip is of acute angle on a lower surface of the plate.

SOLUTION: When a second floor mat such as a carpet is fixed to an arbitrary position on a first mat of an automobile, piercing pieces 3, 4 which are provided on a lower surface of each end of a plate 2 of a

fastener 1, projected
in the center direction with the angle relative to the
plate 2 of 90

COPYRIGHT: (C) 1999, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-217036

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月10日

(51) Int.Cl.⁶

B 6 0 N 3/04

識別記号

F I

B 6 0 N 3/04

B

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平10-57328

(22) 出願日 平成10年(1998) 2月2日

(71) 出願人 395015065

協和産業株式会社

東京都港区南麻布1丁目3番16号

(72) 発明者 田口 秀実

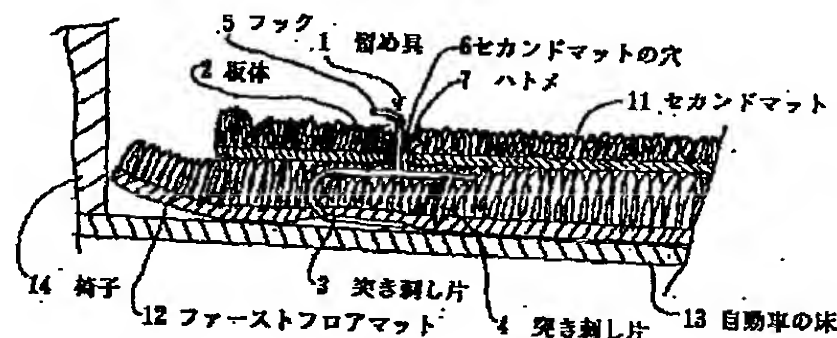
神奈川県横浜市南区永田東2丁目23番地25号

(54) 【発明の名称】 自動車のセカンドマットの留め具およびその使用方法

(57) 【要約】

【課題】自動車のセカンドマットを、その大きさや形状に関係なく、利用者の適切な足元位置で、自動車に取り付けてあるファーストフロアマットに、確実に係止する留め具とその取り付け方法を提供すること。

【解決手段】上面に、セカンドマットに係止するフックを備え、下面には、突き刺し片を設けた留め具で、自動車に取り付けてあるファーストフロアマットの自由な位置に突き刺して、留め具を固定し、セカンドマットを確実にして、的確な位置にセットする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 板体の上部には、ほぼ直角に上方に突き出したフックを設け、その下面には、端から中央部に向かって、先端を鋭角にした、一つまたは複数の突き刺し片を設けた留め具で、下面の突き刺し片を自動車のファーストフロアマットの後部に自動車の前方向に向かって突き刺し、上面のフックには、セカンドマットに設けた穴を掛けて、セカンドマットをファーストフロアマットに固定する方法。

【請求項2】 下面の中央部に向かっての突き刺し片の反対部に、下面から真下か、やや中央部方向に傾けて、先端を鋭角にした、一つまたは複数の突き刺し片を設けた留め具で、さらに、ファーストフロアマットに突き刺し留める請求の範囲第1項に記載のセカンドマットをファーストフロアマットに固定する方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動車のセカンドマットを、ファーストフロアマットの希望する位置に固定する、留め具およびその使用方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、自動車の内部床には、ファーストフロアマットが固定して取り付け、敷かれており、さらにその上には、マットの上に落ちた泥、砂や雨水などが容易に除去できるように、カーベットを主材とするセカンドマットが、取り外し容易に取り付けられていた。しかし、その取り付け方は、取り付け留め具の片端をファーストフロアマットと共に直接自動車の床や椅子に固定されていた。或いはマジックファスナーの雌雄テープを、ファーストフロアマットとセカンドマットのそれぞれに固定していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。従来方法で、セカンドマットをファーストフロアマットに留める場合、ファーストフロアマットに取り付けてある留め具の片端が固定されていたり、位置が定まっているために、セカンドマットの取付け位置が自ずから決まってしまう。従って、セカンドマットの大きさや形状によっては、アクセルペダルやブレーキペダルに掛かって自動車の操縦に支障を来すこともあった。また乗客が座席に座ったときに、靴が直接、ファーストフロアマットに触れるために、セカンドマットの役割が果たせないことも生じていた。

【0004】

【問題を解決するための手段】セカンドマットを固定する留め具を直接、自動車の床や椅子に留めずに、ファーストフロアマットの自由な位置に留め具を固定して、その上部のフックに、セカンドマットを取り付ける方法にする。

【0005】板体の上面には、セカンドマットに明けた穴を掛ける突出フックを設け、板体の下面には、端から中心方向に突出させた、一つ以上の先端を鋭角にした突き刺し片を設けた留め具を、ファーストフロアマットに自動車の前方方向に向かって突き刺して固定する。

【0006】さらには、留め具の固定をより確実にするために、留め具の自動車前方方向端の下面に、やや自動車の後方に向けて突き出した、先端鋭角の突き刺し片を設けて、ファーストフロアマットに突き刺して、留め具を前方、後方どちらにも動かないように固定する。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例について説明する。従来の方法では、セカンドマットの留め具の端を図4の断面図の留め具(15)のごとく、ファーストフロアマット(12)と共に自動車の床(13)に固定するか、図5の留め具(16)のごとく、椅子(14)に固定して、留め具の反対端の突起にセカンドマット(11)の穴を掛けて留めていた。従って、セカンドマット(11)を置く位置は、自ずから決まってしまう。

【0008】本発明の留め具(1)は、図2や図3のごとく、板体(2)の片端下面にファーストフロアマット(12)に突き刺すための突き刺し片(3)を設ける。突き刺し片(3)は、一つでもよいが、複数にすることによって、ファーストフロアマット(12)への固定性が高まる。なお、突き刺し片(3)は、ファーストフロアマット(12)の厚みを考慮して、弧形状にしておく。

【0009】図2は、突き刺し片(3)が二つある実施例であるが、図3のごとく、突き刺し片(3)を一つにしても、ファーストフロアマット(12)への留め効果はある。

【0010】留め具(1)の板体(2)の反対部下面に、板体(2)との角度を90°から約70°に傾けて中央方向に、先端を鋭角にした一つまたは複数の突き刺し片(4)を設けて、突き刺し片(3)をファーストフロアマット(12)に刺し込んだ後に、突き刺し片(4)をファーストフロアマット(12)に突き刺しておけば、留め具(1)はファーストフロアマット(12)に対して、位置決めして、確実に固定出来る。

【0011】留め具(1)の上面からは、図2や図3のごとく、上方に向かってフック(5)が突出されており、その先端は留め具(1)をファーストフロアマット(12)に留めたとき、自動車後方に傾くように設定してあると、セカンドマット(11)に明けたセット穴(6)に差し込んで置いたとき、セカンドマット(11)はフック(5)から容易に抜け出ることが防止出来る。

【0012】留め具(1)は、ファーストフロアマット(12)に、自動車進行方向に対して後方部分に位置決めして、刺し込みセットする。セカンドマット(11)

を留め具(1)のフック(5)に掛ける穴(6)は、セカンドマット(11)をファーストフロアマット(12)にセットしたとき、自動車の前方向にずれていくので、セカンドマット(11)の後部に設定する。その穴(6)の周囲は、ハトメ(7)や糸による縁かがりで、カーペットのほつれを防ぐと共に、留め具(1)とのこすれで磨耗するのを防止する。

【0013】留め具(1)は、図2のごとくスプリング鋼やステンレス鋼など厚み0.5mmから1.0mmの鋼材を打ち抜いて、下面の突き刺し片(3)や(4)を

折り曲げ、上面にはフック(5)を折り曲げて、必要であれば、防錆処理して製作する。

【0014】図3は、留め具(1)の別の実施例であり、鋼材の外、硬質の熱可塑性樹脂を射出成形法によって製作することが出来る。また、突き刺し片(3)や(4)の先端鋭角部に戻り防止のアンカー効果を付与した形状にすることにより、留め具(1)のファーストフロアマット(12)への係止効果が高まる。

【0015】セカンドマット(11)は、自動車の前部のほか後部座席の床にも使用されるが、ファーストフロアマットに留める方法は同じである。ファーストフロアマット(12)は、パイルカーペットやニードルカーペットのほか軟質塩化ビニルの材質が使用されているが、留め具(1)はそのいずれにも適用出来る。留め具(1)の材質が硬質樹脂であったり、ファーストフロアマット(12)が塩化ビニルなど堅い材質で留め具(1)の突き刺し片(3)や(4)が突き刺し難い場合には、ナイフや錐で傷を付ければ、容易に取り付けることが可能である。

【0016】

10 【図1】本発明によりセカンドマットを自動車に取り付けた、部分断面図である。

【図2】留め具の実施例の斜視図である。

【図3】留め具の別の実施例の斜視図である。

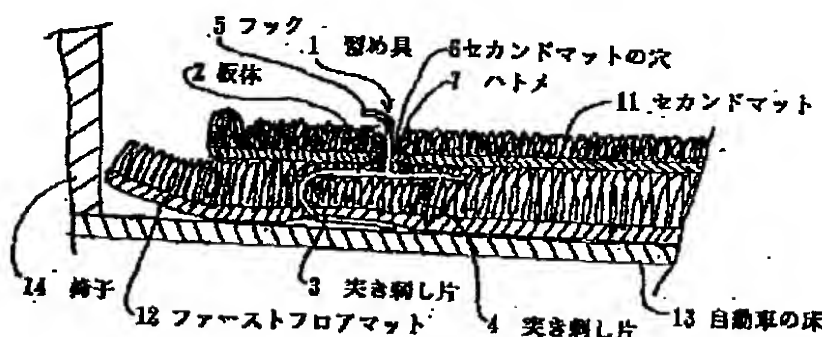
【図4】従来のセカンドマットの取り付け実施例の部分断面図である。

【図5】従来の別なセカンドマットの取り付け実施例の斜視図である。

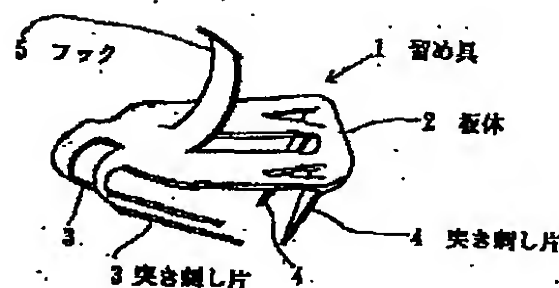
【符号の説明】

- 1 留め具
- 2 板体
- 3、4 突き刺し片
- 5 フック
- 6 セカンドマットの穴
- 7 穴のハトメ
- 11 セカンドマット
- 12 ファーストフロアマット
- 13 自動車の床
- 14 椅子
- 15、16 従来の留め具

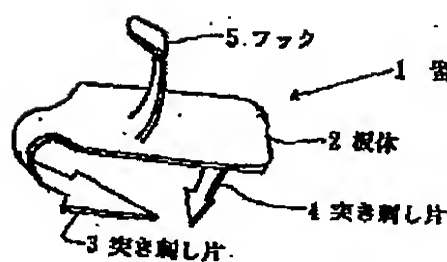
【図1】



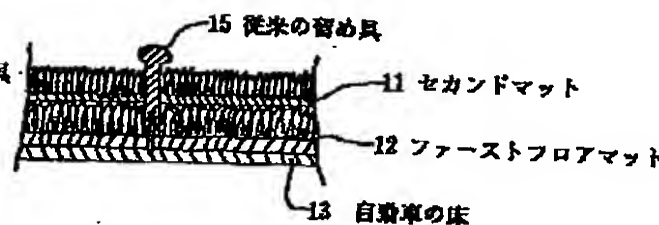
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

